

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 若狭町社会福祉協議会	代表者	会長 山崎 和男	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・僻地診療や主治医と、細かな変化も情報共有することを心掛け、連携の充実を図っている。</li> <li>・自宅での暮らしを継続するために必要な「自分で出来ている事」を維持できるよう、その人らしさを大切にしながら見守り、必要なお手伝いのみ行う事を心掛けている。</li> </ul>
事業所名	小規模多機能ホーム みさき	管理者	橋本 朋美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	人	人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も「みさき介護通信」でご家族への介護情報をお届けする。</li> <li>・外部研修や内部研修で、職員の資質向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みさき介護通信」を通してご家族へ介護情報を季節ごとに発行した。</li> <li>・毎月のミーティング時に内部研修を行なうことや、リモートで「認知症介護実践者研修」を受講することで職員のスキルアップに努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質向上は個人にとってもみさきにとっても大切なことだと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修や内部研修に積極的に参加し、学んだことを職員間で周知する。</li> <li>・ご家族が知りたい情報を「みさき介護通信」でタイムリーにお知らせする。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止（人数制限など）を徹底し、お茶会や干物作りなどに地域の方を招待し、交流していただける行事を開催する。</li> <li>・どのような感染対策を行っているか「みさき通信」などで発信していく。</li> <li>・利用者様の好きなことや得意な分野を活かせるように過ごしていただく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策をとりながら、地域の方を招いて干物作りは行うことが出来た。</li> <li>・散髪の日には地域の方も来ていただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶会などの飲食をともなう行事は社協全体で自粛しているということで仕方がない。飲食以外のことで、地域の方にも参加していただける行事ができるとよい。</li> <li>・今後も体験利用を行なうと良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・干物作りが出来ない時期は、みさきで健康体操やハンドメイドのワークショップなどを行ない、地域の方にも気軽にきていただける居心地の良い場を目指す。</li> <li>・いつでも体験利用ができることをみさき通信でも発信していく。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や訪問時に、積極的に地域の方に声掛けをし、利用者や職員との温かいコミュニケーションに努める。</li> <li>・今後も「みさき通信」に地域の方からの相談事例を掲載し、気軽に相談していただくきっかけになるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者さんだけの施設ではなく、地域のための施設として、気軽に相談いただいた。</li> <li>・送迎時など、浜などにおられる方が多く、積極的に声掛けをさせていただいた。みさき通信は全戸配布し、みさきでの生活の様子などを発信した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常神などの人は、役場まで遠いので一度役場に来て相談していただくというのが厳しい方もいます。申請の相談など、みさきが間に入って申請の手続きや、相談など手伝っていただけるとありがたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請の相談をはじめ福祉課との連携を図り、介護や健康に関する相談を、気軽に声かけていただけるよう、温かいコミュニケーションに努める。</li> <li>・送迎時を地域の方と利用者様との交流の場として大切にする。</li> <li>・僻地診療と地域の方とのパイプ役を務める。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじみの地域で暮らし続けられるように、家族や地域との関係を大切にする。</li> <li>・地域の方から、利用者様の地域での生活や昔の活動などの話を聞き、みさきでの活動に活かす。</li> <li>・少人数での外出で利用者様の行きたい場所ややりたいことを地域の方の協力を得ながら実現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協として外出が出来ないため、レインボーライン見学や花見などを行なっている。</li> <li>・家族との関係や地域との関係を大切にしながらサービス利用してもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の新幹線事業の一環でレインボーライン無料化の話も出ている。行けるといい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり一人の希望をお聞きし、感染予防を徹底した上で、個別や少人数での外出レクリエーションを行なう。</li> <li>・地域の方の力も借りながら、利用者様の好きなことや得意なことができるようにサポートしていく。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も運営推進委員会の方にイベントや行事のお知らせをし、足を運んでいただく機会をふやす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道からの入り口に委員長さんの助言でカーブミラーを設置していただいた。</li> <li>・家庭介護教室にも三名の運営推進委員会の方にご参加いただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力できることがあれば都合がつく限り参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進委員会の方に気軽に参加していただけるような内容の行事を開催し足を運んでいただく機会を増やす。</li> <li>・地域で気がかりな方の情報提供をしていただくなど連絡を取り合い連携していく。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防訓練や、大雪や災害時を想定した対応について、内部研修を行う。</li> <li>・地域の防災訓練に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練を見学させていただいた。</li> <li>・利用者を交えての消火器訓練や災害時等を想定した内部研修を開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みさきの前の山から水や土砂が流れてくる件については、一度映像や、写真などで伝えていただけるとありがたい。緊急性がないと対応が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に備え、役場や関係機関との連携をしっかりとる。</li> <li>・消防訓練や防災に関する内部研修を行ない、災害時にスムーズに動けるようにする。</li> </ul>